

生命環境科学研究科 地球科学専攻 学位論文（修士）審査基準

（審査体制）

入学後、学生は研究課題を定め、課程修了までに研究中間発表、研究最終発表を行い、修士論文を執筆する。論文審査に関しては、本専攻構成員（連携大学院教員を含む）から選考された主査、副査（2名以上）からなる論文審査委員会により研究内容が厳正に審査され、合否の判定を受ける。この研究実績の評価と、単位の取得状況などを総合的に判断し、最終審査の結果合格となった学生に修士（理学）の学位を授与する。

（評価項目）

以下の6項目について達成度評価を行う。

① 専門基礎

セミナー・演習や修士論文の作成指導を通じ、学位にふさわしいレベルの基礎能力を有していること。

② 関連分野基礎

学位に関連した分野について、講義・演習・野外実験を通じ、学位にふさわしいレベルの基礎能力を有していること。

③ 現実問題の知識

現実の問題について、講義・演習を通じ、その全体像を的確に把握する能力を有すること。

④ 広い視野

セミナー・演習などにおいて、他分野の議論を理解できる視野の広さを有していること。

⑤ 問題設定から解決まで

問題設定から解決までのプロセスを理解し、具体的解決に導くことができること。

⑥ プレゼンテーション・コミュニケーション能力

セミナー・演習や研究発表会において、プレゼンテーションとコミュニケーションを的確に行なえること。

（評価基準）

最終審査において、上記6項目の達成度および論文の内容が、修士（理学）の合格水準に達していることが必要となる。